

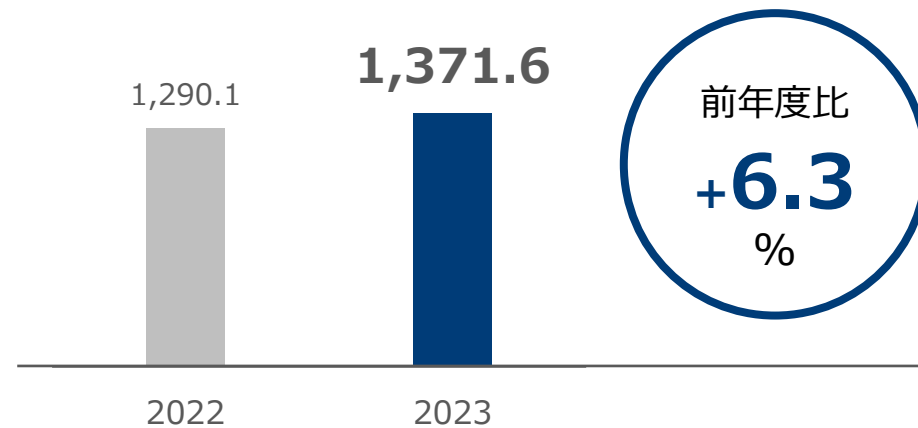
2023年度の事業



2024年5月22日

(各棒グラフの上の数字はそれぞれ実績額 単位：億円)

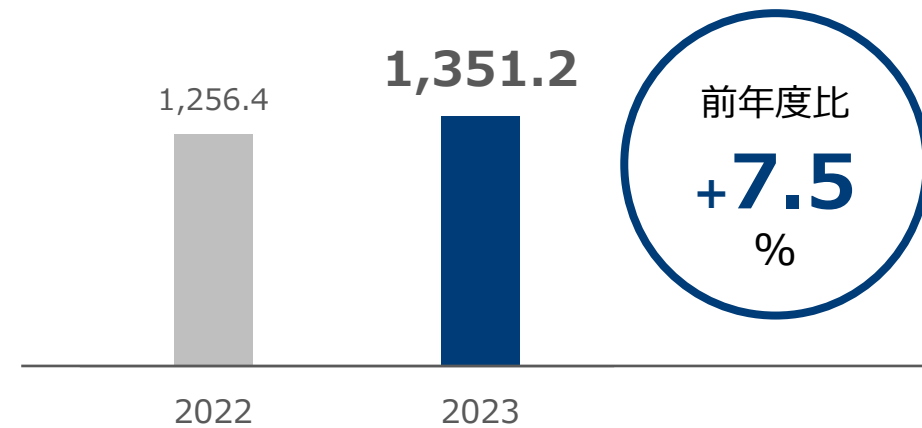
過去最高額
徴収額 **1,371.6** 億円



2022年度の実績額を81.4億円上回り、過去最高額を更新しました。

徴収額が増加した主な種目は、インタラクティブ配信で40.5億円の増、演奏等で28.7億円の増、ビデオグラムで13.5億円の増となりました。

過去最高額
分配額 **1,351.2** 億円



2022年度の実績額を94.7億円上回り、過去最高額を更新しました。

主に2022年10月から2023年12月までの徴収額を反映し、演奏等およびインタラクティブ配信で大幅な増となりました。

2023年度 使用料等徴収額

分野・種目	実績額（千円）	前年度比（%）
演奏	58,196,685	103.9
演奏等	23,721,298	113.8
放送等	28,210,565	97.4
有線放送等	4,290,902	97.5
映画上映	343,550	97.1
外国入金演奏	1,630,367	113.6
録音	18,509,432	109.4
オーディオディスク	7,766,203	103.2
オーディオテープ	197,520	92.0
オルゴール	9,528	112.8
映画録音	71,597	90.8
ビデオグラム	9,982,455	115.7
外国入金録音	482,128	105.1
出版	598,790	91.0
特定目的複製	4,691,740	110.2
広告目的複製	1,628,820	101.3
ゲーム目的複製	3,062,920	115.5
貸与	406,984	77.0
複合	54,692,204	108.2
通信カラオケ	5,968,886	101.7
インタラクティブ配信	48,723,317	109.1
補償金	71,449	67.5
合計	137,167,288	106.3

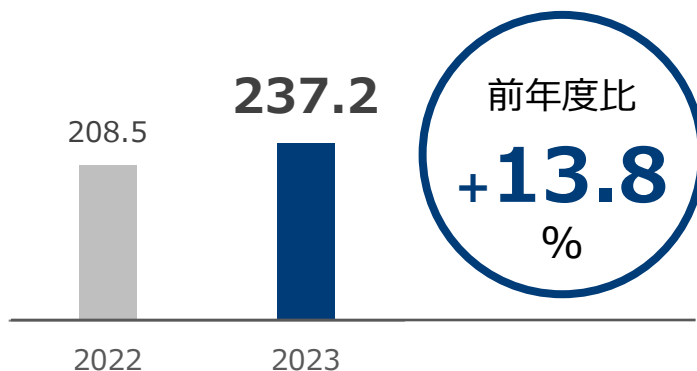
2023年度 使用料等分配額

分野・種目	実績額（千円）	前年度比（%）
演奏	58,736,200	106.3
演奏等	23,143,477	113.9
放送等	29,422,136	101.5
有線放送等	4,346,573	96.8
映画上映	358,823	121.4
外国入金演奏	1,465,188	127.4
録音	18,118,196	104.6
オーディオディスク	7,787,153	104.1
オーディオテープ	222,572	107.0
オルゴール	8,695	103.1
映画録音	61,985	80.2
ビデオグラム	9,588,679	104.4
外国入金録音	449,109	126.4
出版	613,687	90.0
特定目的複製	4,566,622	101.6
広告目的複製	1,576,960	94.2
ゲーム目的複製	2,989,661	105.9
貸与	469,391	78.8
複合	52,489,718	111.0
通信カラオケ	5,964,475	102.8
インタラクティブ配信	46,525,243	112.2
補償金	132,623	293.4
合計	135,126,441	107.5

※各種目の実績額の和が「合計」と一致しないのは、それぞれ千円未満を非表示としているためです

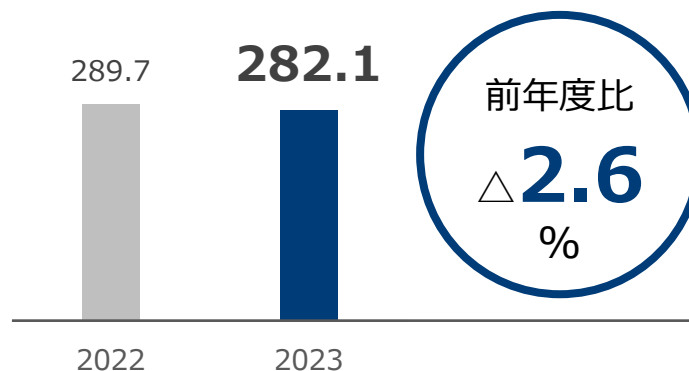
(各棒グラフの上の数字はそれぞれ徴収実績額 単位：億円)

演奏等 237.2 億円



ライブ・コンサート等の動員数が増加し、大規模演奏会の開催件数も増加していることなどから、コロナ禍前の実績額も上回りました(2019年度比126.7%)。

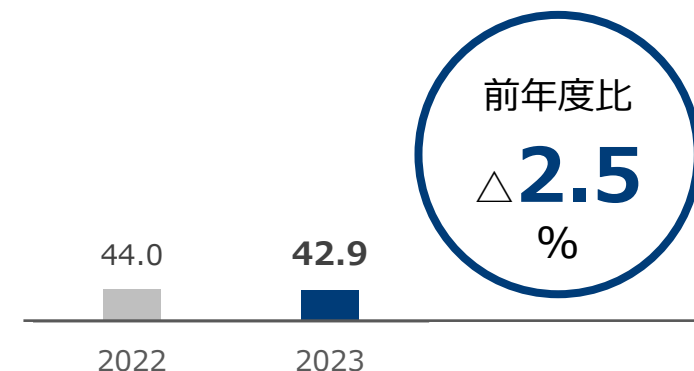
放送等 282.1 億円



番組放送は、使用料の算定基礎となる各事業者の2022年度放送事業収入の減少(※)の影響を受け、2022年度実績額を下回りました。

※ 2021年度の放送事業収入に「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に係る広告収入が含まれていることの反動による減少

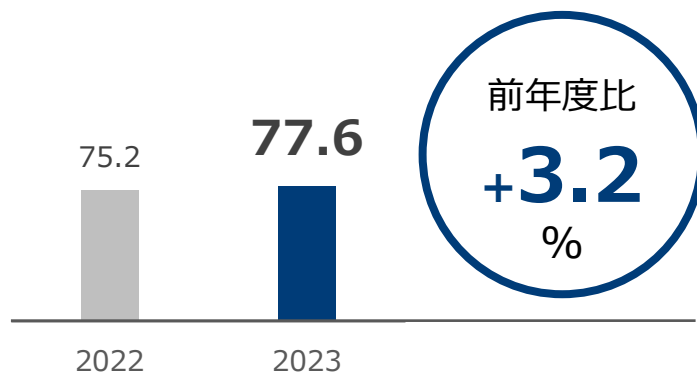
有線放送等 42.9 億円



有線ラジオ放送、有線テレビ放送のいずれも、使用料の算定基礎となる2022年度の放送事業収入が全体として減少したことなどにより、2022年度実績額を下回りました。

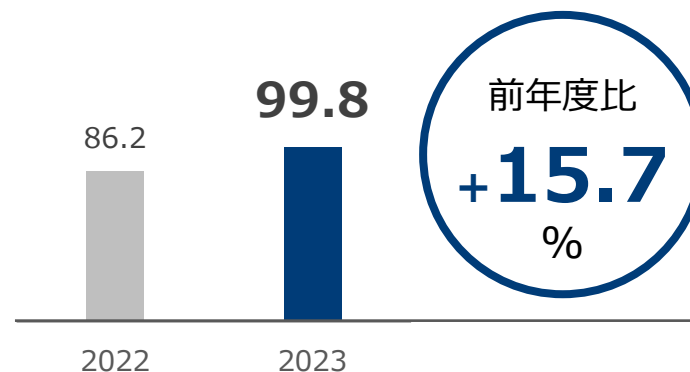
(各棒グラフの上の数字はそれぞれ徴収実績額 単位：億円)

オーディオ ディスク 77.6 億円



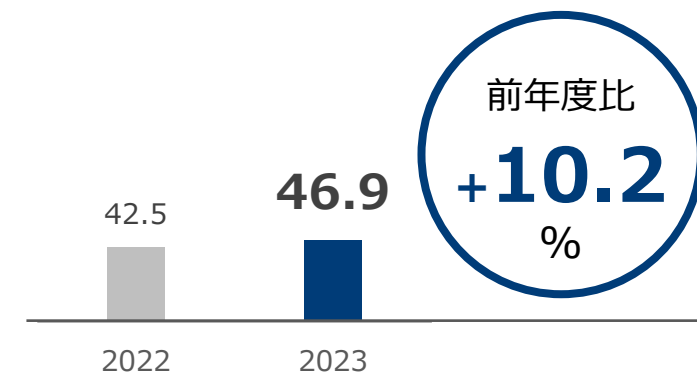
ライブ・コンサートの開催に合わせてリリースされたシングル・アルバム製品を中心に生産数が増加したことなどから、2022年度実績額を上回りました。

ビデオグラム 99.8 億円



ライブ・コンサートの増加に伴い、それらを収録した製品を中心に音楽ビデオのリリースが増加したことなどから生産数が伸び、2022年度実績額を大きく上回りました。

特定目的 複製 46.9 億円



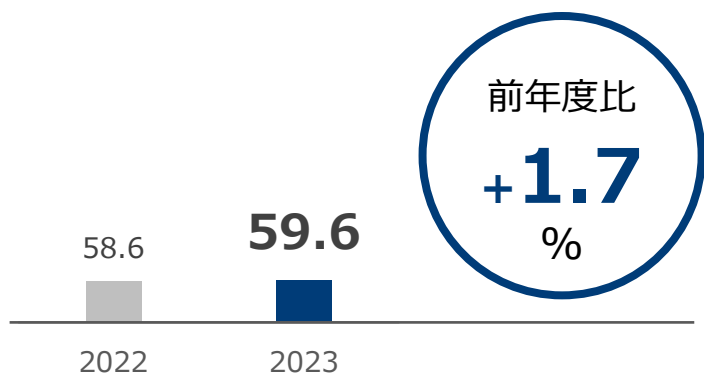
広告目的複製は、外食関連の広告をはじめとして管理楽曲が多く利用されたことなどから、2022年度実績額を上回りました。

ゲーム目的複製は、スマート遊技機(※)の出荷が好調であったことなどから、2022年度実績額を大きく上回りました。

※ ユーザーが直接パチンコ玉やメダルに触れることなく遊技できる、新たな遊技機のフォーマット

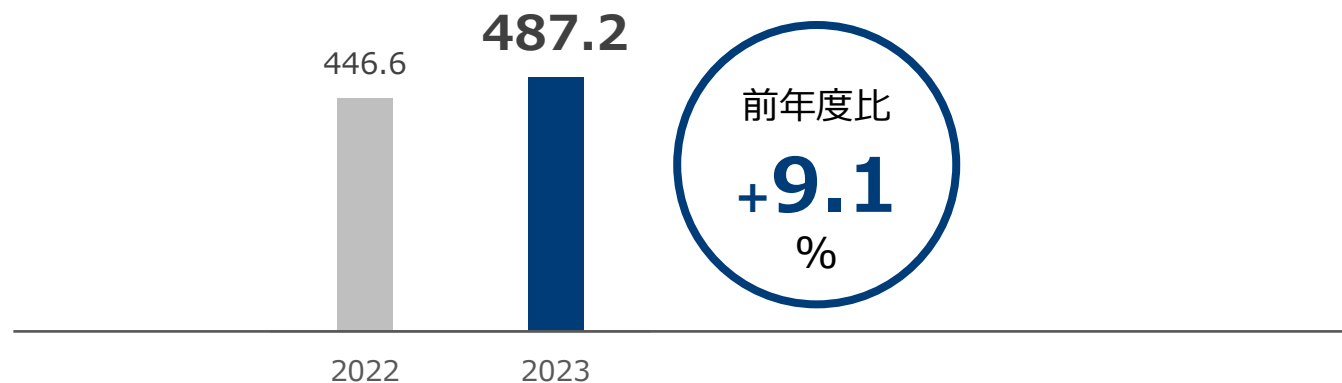
(各棒グラフの上の数字はそれぞれ徴収実績額 単位：億円)

通信カラオケ 59.6 億円



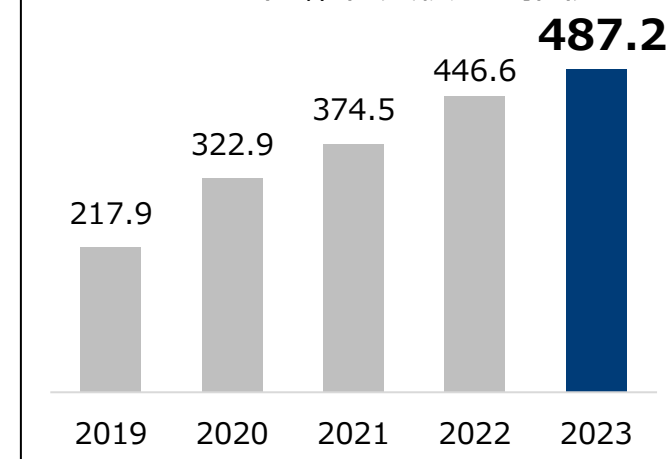
コロナ5類移行に伴い、カラオケ歌唱室の新規出店や増室があり、通信カラオケ端末の稼働台数が増加したことなどから2022年度実績額を上回りました。

インタラクティブ配信 487.2 億円



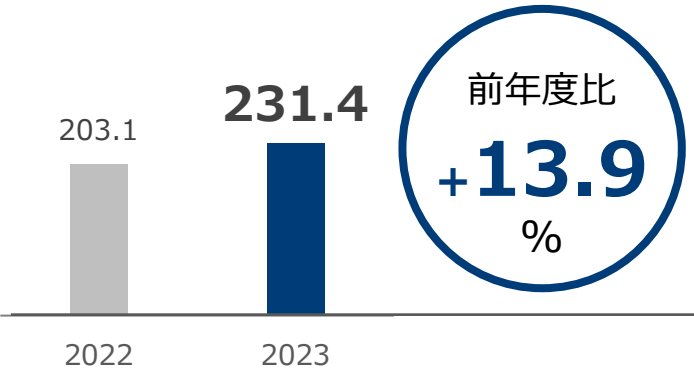
音楽サブスクリプションで、主要なサービスで会員数の増加が続いていること、それらサービスの一部で使用料の算定要素の一つである月額料金が引き上げられたことなどから2022年度実績額を上回りました。

インタラクティブ配信実績額の推移

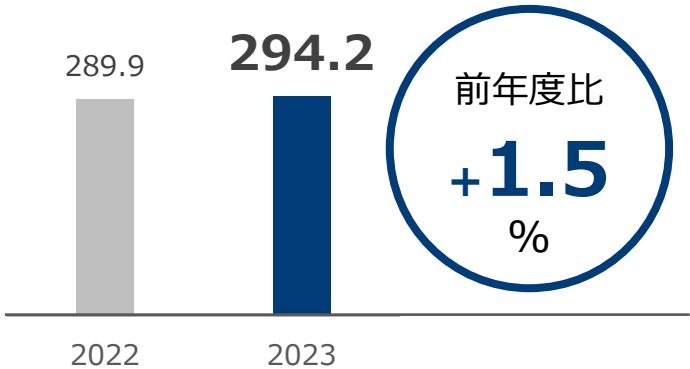


(各棒グラフの上の数字はそれぞれ分配実績額 単位：億円)

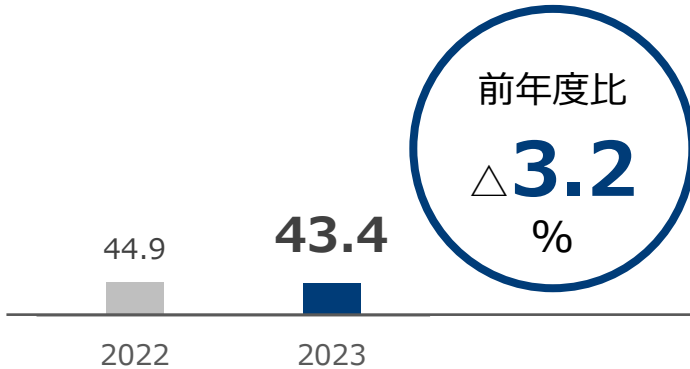
演奏等 231.4 億円



放送等 294.2 億円



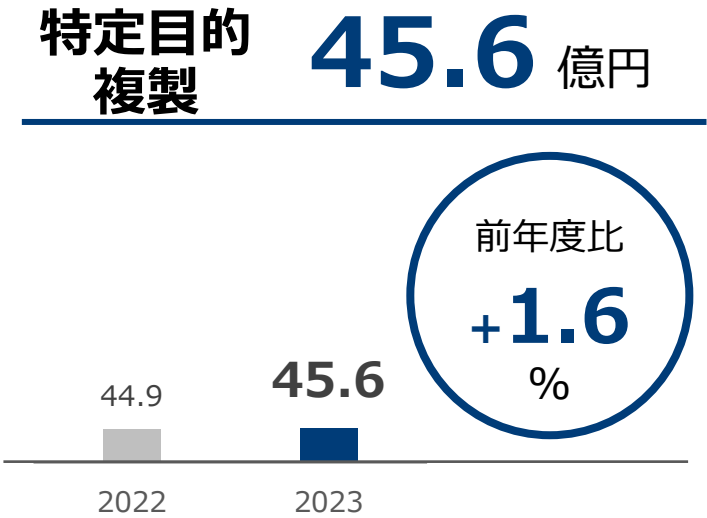
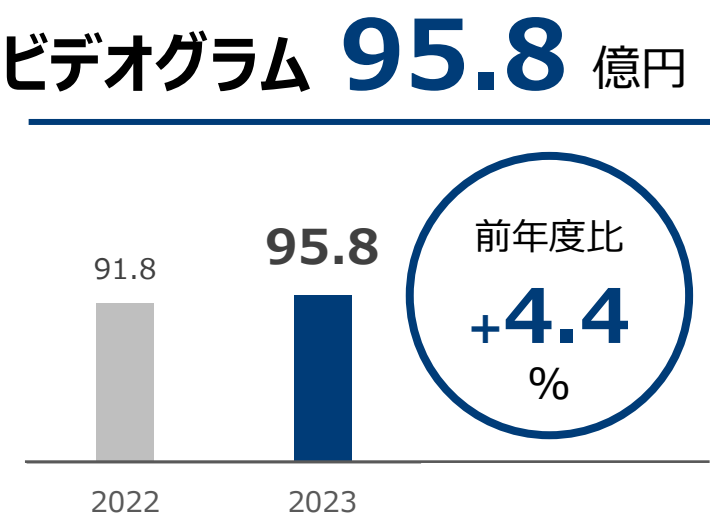
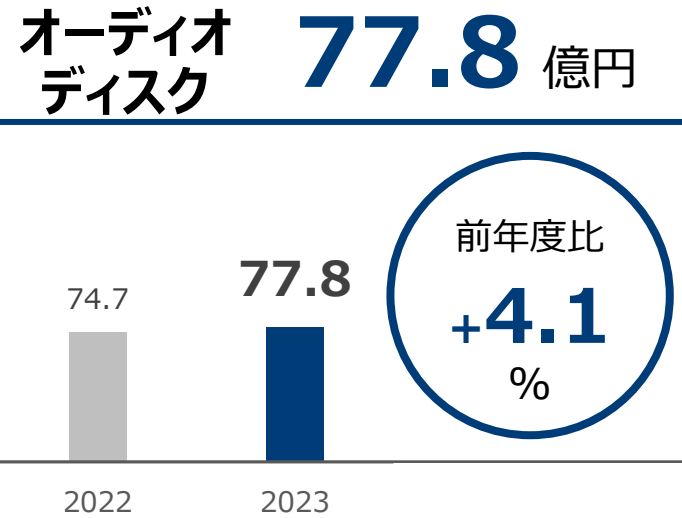
有線放送等 43.4 億円



科目ごとの分配対象作品数

科目		主な分配対象使用料			分配対象作品数
演奏等	上演・演奏会等	2023年1月	～	2023年12月 入金分	273,278 作品
	社交場	2023年1月	～	2023年12月 入金分	29,113 作品
	カラオケ	2023年1月	～	2023年12月 入金分	340,738 作品
放送等	NHK、民放地上波ラジオ、民放地上波テレビ	2022年10月	～	2023年9月 使用分	827,230 作品
	コミュニティ放送、放送大学、民放衛星ラジオおよび民放衛星テレビ	2022年4月	～	2023年3月 使用分	
	CM放送	2022年10月	～	2023年9月 入金分	487 作品
有線放送等	有線ラジオ放送	2022年4月	～	2023年3月 入金分	429,547 作品
	有線テレビ放送	2022年4月	～	2023年3月 使用分	248,501 作品

(各棒グラフの上の数字はそれぞれ分配実績額 単位：億円)

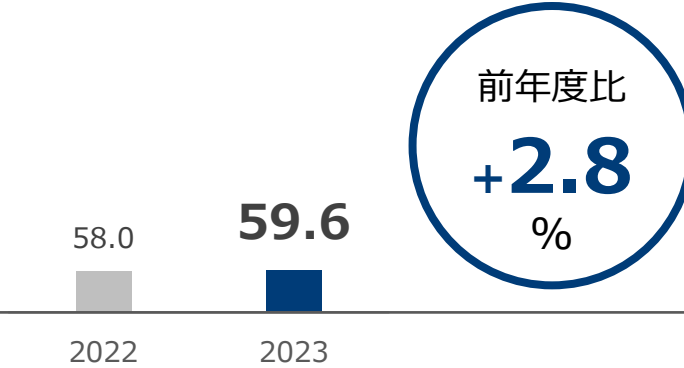


科目ごとの分配対象作品数

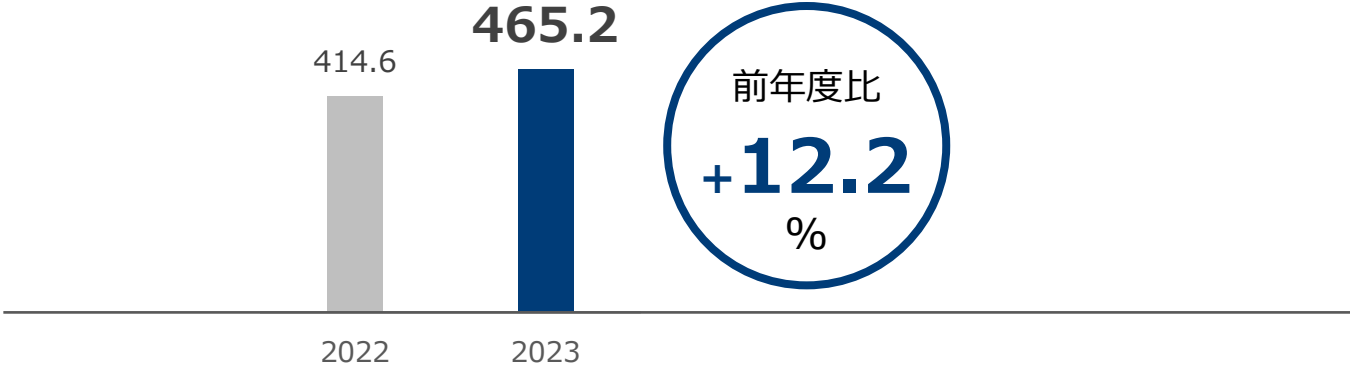
科目		主な分配対象使用料		分配対象作品数
オーディオディスク	大手レコード会社など包括契約者	2023年5月・8月・11月・2024年2月	入金分	504,844 作品
	包括契約者以外の利用者	2023年1月 ~ 2023年12月	入金分	
ビデオグラム	大手映像ソフト制作会社など包括契約者	2023年3月・6月・9月・12月	入金分	165,310 作品
	包括契約者以外の利用者	2023年1月 ~ 2023年12月	入金分	
特定目的複製	広告目的複製	2023年1月 ~ 2023年12月	入金分	854 作品
	ゲーム目的複製	2023年1月 ~ 2023年12月	入金分	3,132 作品

(各棒グラフの上の数字はそれぞれ分配実績額 単位：億円)

通信カラオケ **59.6** 億円

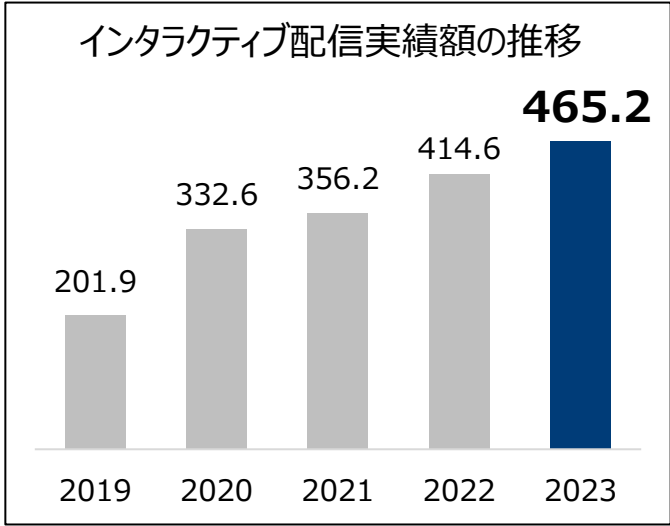


インタラクティブ配信 **465.2** 億円



科目ごとの分配対象作品数

科目	主な分配対象使用料	分配対象作品数
通信カラオケ	2023年1月 ～ 2023年12月 入金分	326,597 作品
インタラクティブ配信	2023年1月 ～ 2024年1月 入金分	2,567,979 作品



管理対象作品数

82,537,783作品

(2024年5月17日時点でのCIS-Net (※) 登録数。JASRACが登録した**2,260,330作品**を含む)

※ CISACが開発した国際的な作品情報データベースで、加盟各団体が管理作品データを提供し、各団体の管理作品情報等をネットワーク上で共有している

分配対象作品数および権利者数 (全分野を通じたユニーク数)

		2022年度	2023年度
分配対象作品数		2,990,954 作品	3,121,804 作品
分配対象権利者数 (内国)	著作者	79,765 人	85,801 人
	音楽出版社	3,025 社	3,071 社
分配対象権利者数 (外国)	著作者	392,345 人	414,254 人
	音楽出版社	48,888 社	51,233 社
		※120の外国団体を通じて分配	※120の外国団体を通じて分配

演奏

刑事	民事					合計
告訴	本案訴訟	仮処分	民事調停	支払督促	その他	
1件 ※ (0件)	0件 (0件)	3件 (0件)	1,282件 (1,219件)	13件 (13件)	12件 (21件)	1,311件 (1,253件)

() 内は2022年度

※ 2023年6月執行の仮処分によりカラオケ機器に施された封印を破棄して著作権侵害を継続していたカラオケ歌唱室事業者（宮城県所在）を、封印破棄について同年11月に告発し、さらに、著作権侵害について同年12月に告訴した事案

録音

市販のDVDや放送番組の映像を内容とする無断複製物を販売していた事案3件について刑事告訴を行いました。また、使用料の滞納について1件の民事調停を申し立てました。

公衆送信

ファイル共有ソフト「qBittorrent」を悪用して音楽ファイル等を無断でアップロードしていた事案1件について刑事告訴を行ったほか、使用料の滞納について2件の民事調停を申し立てました。

フィンガープリントによるYouTube動画の楽曲特定

「Content ID」（YouTube上の著作権で保護されたコンテンツを著作権者が保護・管理するためのツール）で検知されない利用楽曲をフィンガープリント技術によって特定できるようにすることを目的として、BMAT社およびORFIUM社と業務委託契約を締結しました。



プレスリリース

外国入金増加等に向けた取り組み

音楽コンテンツの海外展開が進む中、管理楽曲の外国地域における利用について適正な徴収・分配を確保するため、以下の取り組みを行いました。

(1) キューシート情報の登録

管理楽曲が収録されたアニメ等の動画コンテンツを各国の著作権管理団体が的確に特定できるよう、外国語表記のタイトルを付与したキューシート情報をCISAC（著作権協会国際連合）が運営するデータベースに追加登録しました。

(2) GDSDXの運用開始

グローバル展開する動画・音楽の配信サービスのコンテンツ情報と著作権管理団体が管理する楽曲情報を共有・交換するプラットフォーム「GDSDX」の運用を2023年5月に開始しました。GDSDX上でのデータ交換を推進することで、参加する著作権管理団体がJASRAC管理楽曲を正確に特定することができ、外国地域における適切な管理につながることを期待されます。



プレスリリース

分配明細書のデジタル化

2023年6月分配期から、これまで紙で提供していた分配明細書について、提供項目やフォーマットを見直した上でデジタルデータによる提供を開始しました。

公表時編曲制度の取り扱いを変更

1998年に独自の制度として開始した公表時編曲制度（※）について、作品の公表や制作の方法が多様化している実態を踏まえ、インタラクティブ配信で初めて利用される時に付された編曲を追加し、複数名の公表時編曲者の届出を可能としました（2024年3月分配期から実施）。

※ 著作物が初めてCD等のレコードで発行（公表）される時に付された編曲を行った編曲家・アレンジャーが、カラオケ演奏使用料および業務用通信カラオケ送信使用料の1/12の分配を受けられる仕組み



管理手数料実施料率の一部引き下げ

経常費用の支出が予算内に収まる見込みとなったことから、2024年3月分配期に適用する管理手数料実施料率の一部を引き下げました。また、実際の使用料分配額に対する経常費用の割合は9.6%（2023年度）となりました。

使用料の区分		2023年度 実施料率	2024年3月 分配期のみ
演奏等	大規模演奏会等	12.5%	10.5%
	カラオケ	22%	20%
	ビデオ上映	23%	21%
	遊技機（上映・演奏）	13%	11%
放送等		8.5%	6.5%
有線放送等		9.5%	7.5%
業務用通信カラオケ		9%	7%
インタラクティブ配信		9.5%	7.5%
映画上映		23%	21%
授業目的公衆送信補償金		9.5%	7.5%



管理委託契約約款の変更

6月の定時社員総会において管理委託契約約款の一部変更を決議（8月1日施行）し、信託契約の申込みから信託の開始までの期間と、委託者による解除の通知から信託の終了までの期間を短縮しました。

「YouTube Songwriter Masterclass」を開催

YouTubeチャンネル活用に関する個人作家向けのワークショップ「YouTube Songwriter Masterclass」をGoogleと共同で開催し、YouTubeにおける収益分配の基礎知識やJASRACの役割に対する理解の促進を図りました（11月）。



「YouTube Songwriter Masterclass」

「JASRAC Creator's Path」を開催

音楽クリエイターを対象としたトークイベント「JASRAC Creator's Path」を11月と2024年2月に開催し、音楽著作権の基礎知識やJASRACの役割に対する理解の促進を図りました。

JASRAC
Creator's Path
"GATE"

2024.02.01

トップクリエイターによる
音楽クリエイター限定のトークイベント。
「作詞家の見ている世界」をテーマに、
作詞家になったキッカケや作詞術など。
参加者とミニワークショップを開催します！

参加費
無料

2024年2月1日 Thu.

START 19:00 LAST 21:00

六本木クラブス (東京メトロ六本木 徒歩5分)

お申し込みは
こちらから

前迫 潤哉
[ガラスを割れ！/福坂46] and more

木村友成
[Step and a step/NiziU] and more

special guest 松井 五郎

主催 一般社団法人日本著作権協会 JASRAC®

「JASRAC Creator's Path」

新規信託契約締結者数および新規入会者数

	著作者	音楽出版社	その他	合計
新規信託契約締結者数	472 (396)	86 (80)	3 (0)	561 (476)
新規入会者数	77 (85)	6 (11)	0 (0)	83 (96)

() 内は2022年度

会員数および信託数（2024年3月31日現在）

	会員		信託者	信託数 (会員・信託者の合計)
	正会員	準会員		
作詞者	228	1,022	1,804	3,054
作曲者	309	686	1,764	2,759
作詞・作曲者	741	1,471	3,984	6,196
音楽出版社	244	459	2,918	3,621
承継者	-	168	4,661	4,829
その他	-	12	26	38
合計	1,522	3,818	15,157	20,497

「KENDRIX」をアップデート

ブロックチェーン技術を活用した存在証明機能とeKYC機能を備える楽曲情報管理システム「KENDRIX」のアップデートを行いました。

また、7月にイラストレーターの中村佑介氏が描き下ろしたキービジュアルを公開しました。

主な機能アップデート

- ▷ 楽曲情報を、招待した他のユーザーとシェアする機能の追加（7月）
- ▷ 楽曲情報を削除する機能の追加（7月）
- ▷ プロジェクト機能の拡張（9月）
- ▷ 登録可能な音声ファイル形式の追加（9月）
- ▷ eKYCで対応する身分証明書の種類の追加（9月）
- ▷ 音源類似チェック機能の追加（2024年3月）
- ▷ 「ビジネスアカウント」の新設（2024年3月）



illustration / YUSUKE NAKAMURA



KENDRIX



KENDRIX Media

トルコ・シリア地震に関する支援活動

2023年2月に発生したトルコ・シリア地震で被災したMESAM・MSG（トルコの著作権管理団体）の会員の支援を目的として、6月、支援金300万円を両団体が創設した基金に送金しました。

令和6年能登半島地震の被災者への支援等

(1) 義援金の寄付等

被災者の支援と被災地の復興を目的として、2024年1月、日本赤十字社を通じて500万円の義援金を寄付しました。

また、2024年1月26日から3月31日にかけて会員・信託者および役職員から義援金を募集しました（2024年4月10日に日本赤十字社を通じて約149万円を寄付しました）。

(2) 著作物使用料の請求停止

甚大な被害を受けた地域に所在する飲食店等の施設を対象として、2024年1月から3月までの間、使用料の請求を停止しました。



詳細ページ

岸田文雄首相、都倉俊一文化庁長官を表敬訪問

4月4日、伊澤一雅理事長と須子真奈美常務理事が、CISAC（著作権協会国際連合）のビョルン・ウルヴァース会長、ガディ・オロン事務局長およびベンジャミン・ンCISACアジア太平洋地域代表とともに、都倉俊一文化庁長官を表敬訪問し、2019年5月のCISAC総会で採択された決議（※）について、改めて日本政府の対応を求めました。

同日、さらに、弦哲也会長も加わって、岸田文雄首相を表敬訪問し、クリエイターへの適正な対価還元の在り方などについて意見交換を行いました。

※ 形骸化した日本の私的録音録画補償金制度の回復に向けて、新しい機能的で公平な制度を早急に構築することなどを求めたもの



BIEM（録音権協会国際事務局）の執行委員に再選出

4月のBIEMの総会において、須子真奈美常務理事が執行委員に再選出されました。CISAC総会・理事会・各委員会のほか、BIEM（録音権協会国際事務局）総会・執行委員会などの国際会議において、生成AIに関する諸問題や国際間の円滑な著作権管理の推進などについて議論や情報交換を行いました。

グローバル・デジタル・サービス・データ交換（GDSDX） システム開発事業

グローバル展開する動画・音楽の配信サービスのコンテンツ情報とCISACアジア太平洋委員会に所属する著作権管理団体が管理する音楽の作品情報（ISWCまたは作品コード）を共有・交換するプラットフォームであるGDSDXシステムの開発が完了し、各参加団体において5月から運用が開始されました。

この事業はデジタル社会におけるクリエイターへの対価還元に関する課題に対応するための取り組みで、データ交換の対象範囲を順次拡大していく予定です。



プレスリリース

在外研究支援事業「JASRAC国際フェローシップ」

知的財産法を専門とする有識者3名の委員で構成される「JASRAC国際フェローシップに係る研究員の選考に関する委員会」の推薦を受け、第2回在外研究員に東海大学法学部准教授の内田剛さんを決定しました。内田さんは、ミュンヘン（ドイツ）のマックス・プランク・イノベーション競争研究所で4月から研究を開始しました。

また、2022年12月に決定していた第1回在外研究員の加藤賢さんが、9月からロンドン大学ゴールドスミス（イギリス）で研究を開始しました。



詳細ページ

教育・啓発事業「JASRAC著作権アカデミー」

音楽をはじめとした著作権制度やJASRACが行う著作権管理事業について、教育関係者や一般の方々のニーズに沿って必要な情報を提供することを目的として、6月に教育・啓発事業「JASRAC著作権アカデミー」の実施を決定しました。

「JASRAC著作権アカデミー」では、以下の取り組みを段階的に実施することとしています。

- ① 講師キャスティング（選定）
- ② 公募型一般講座「出張講座 JASRACラーニングスクエア」
- ③ 公募型寄付講座「寄付講座 JASRACキャンパス」
- ④ 教材制作
- ⑤ 講義・教材の配信

10月から公募型一般講座「出張講座 JASRACラーニングスクエア」を開始し、10件の講座を実施しました。



JASRAC著作権アカデミー
特設サイト

生成AIと著作権の問題に関する基本的な考え方を発表

7月、理事会における議論を経て、「生成AIと著作権の問題に関する基本的な考え方」を発表しました。



プレスリリース

内閣府「AI時代の知的財産権検討会」に参加

10月、内閣府「AI時代の知的財産権検討会」の第2回会合で行われた関係団体へのヒアリングに参加し、意見を述べました。



プレスリリース

音楽関連9団体が「AIに関する音楽団体協議会」を設置

12月、JASRACを含む音楽関連9団体は「AIに関する音楽団体協議会」を設置しました。



プレスリリース

「AIと著作権に関する考え方について（素案）」へ意見を提出

2024年2月、文化審議会著作権分科会法制度小委員会が取りまとめた「AIと著作権に関する考え方について（素案）」に関する意見募集に対し、意見を提出しました。



プレスリリース

公式アカウントでの情報発信

JASRACの事業に関する情報を広く迅速に発信するため、X（旧Twitter）、Facebookの公式アカウントの活用を継続しました。

また、YouTube公式チャンネルでは、音楽クリエイターの素顔に迫る動画や、お笑い芸人が著作権について語る動画などを配信しました。

https://twitter.com/JASRAC_1939

<https://www.facebook.com/jasrac1939/>

https://www.youtube.com/jasrac_official



X



Facebook



YouTube

ウェブサイトをリニューアル

2024年3月、ウェブサイトをリニューアルしました。「音楽クリエイターの明日を守る」という私たちの思いを明らかにしたうえで、「JASRACについて」のページで、会長を務める作曲家・弦哲也と理事長伊澤一雅のメッセージを紹介しています。

また、新たに「マガジン」を新設。JASRAC賞、音楽文化賞等の紹介やインタビュー記事など各種の情報、コンテンツを発信していきます。ぜひご覧ください。



各種番組協賛・記事広告の出稿

- ▷ 中高生を主なリスナーとするラジオ番組「SCHOOL OF LOCK!」(TOKYO FM)において、協賛コーナー、CM等を放送しました。
- ▷ 地上波テレビ25局ネットで放送されている音楽情報番組「B.B.レアリティ」において、「JASRAC音楽著作権講座」を放送しました。
- ▷ 音楽ファンへの情報発信の強化を目的として、音楽メディア「音楽ナタリー」への記事広告を出稿しました。
- ▷ 音楽クリエイターへの情報発信の強化を目的として、音楽系メディア「DTMステーション」への記事広告を出稿しました。



音楽ナタリー



DTMステーション